

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	高齢者膵癌に対する治療：高齢者にとっての最善の治療法は？
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	北見智恵
2013年から2022年12月までに切除した膵癌症例172例	
③概要	
<p>【緒言】膵癌治療において、術前化学療法（NAC）、手術、術後補助化学療法（AC）が標準治療となった。しかし高齢者に対する治療選択基準は確立されていない。【目的】当院における80歳以上の高齢者膵癌切除症例を調査し、高齢者膵癌に対する適切な治療戦略決定条件を模索する。【対象と方法】2013年から2022年12月までに切除した膵癌症例172例を対象とした。①超高齢者 vs. 非高齢者：80歳以上を超高齢者とし、80歳未満患者と臨床病理学的因子について比較検討した。②切除 vs. 非切除：2017-2021年のClinical Stage I, IIの80歳以上症例を切除と非切除で予後を比較した。【結果】①80歳以上は26例（15%）であった。超高齢者群で術前総コレステロール値（187/148 g/dl, $p=0.001$）、術後 Psoas Muscle Index (PMI) が低値（8.1/6.4, $p=0.01$）、手術時間が短く（309/221分, $p=0.001$）、出血量が少なかった（342/246g, $p=0.02$）。超高齢者で病理学的腫瘍径が大きく（38/26 mm, $p=0.03$）、NAC 施行率（23%/68.5%, $p=0.000$）、AC 施行率（27%/88%, $p=0.000$）が低かった。超高齢者の全生存期間中央値が20.2ヵ月、対照群の35.9ヵ月に比して有意に予後不良であった（$p=0.001$）。②切除例は非切除（化学療法、放射線療法、無治療）に比し予後が良好であった（$p=0.002$）。【考察】超高齢者に対して安全に切除可能であるが、術前コレステロール値、術後 PMI が低く、周術期の栄養管理、リハビリの介入が必要である。超高齢者で NAC, AC 施行率が低く、化学療法施行率の低さが予後不良に関係していると推測された。【結語】超高齢者において、NAC, 切除, AC の完遂可能な症例の選択が必要である。</p>	
④申請番号	
⑤研究の目的・意義	高齢者膵癌に対する適切な治療戦略決定条件を模索する。
⑥研究期間	2013年から2023年3月
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	第72回日本農村医学会学術総会
⑧利用または提供する情報の項目	血液 画像 病理 臨床記録
⑨利用の範囲	長岡中央総合病院外科部長 北見智恵
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院外科部長 北見智恵
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	長岡中央総合病院 外科 北見智恵 〒940-8653 新潟県長岡市川崎町2041番地 TEL 0258-35-3700 FAX 0258-33-9596